

令和2年4月28日

園名 鈴鹿市立箕田幼稚園

園長名 實義 法子

令和2年度 園内研修実施計画書

1 研究主題

共に育ち合う 箕田幼稚園

～ 子どもの育ちを支えるために、教師ができることを探る ～

2 主題設定の理由

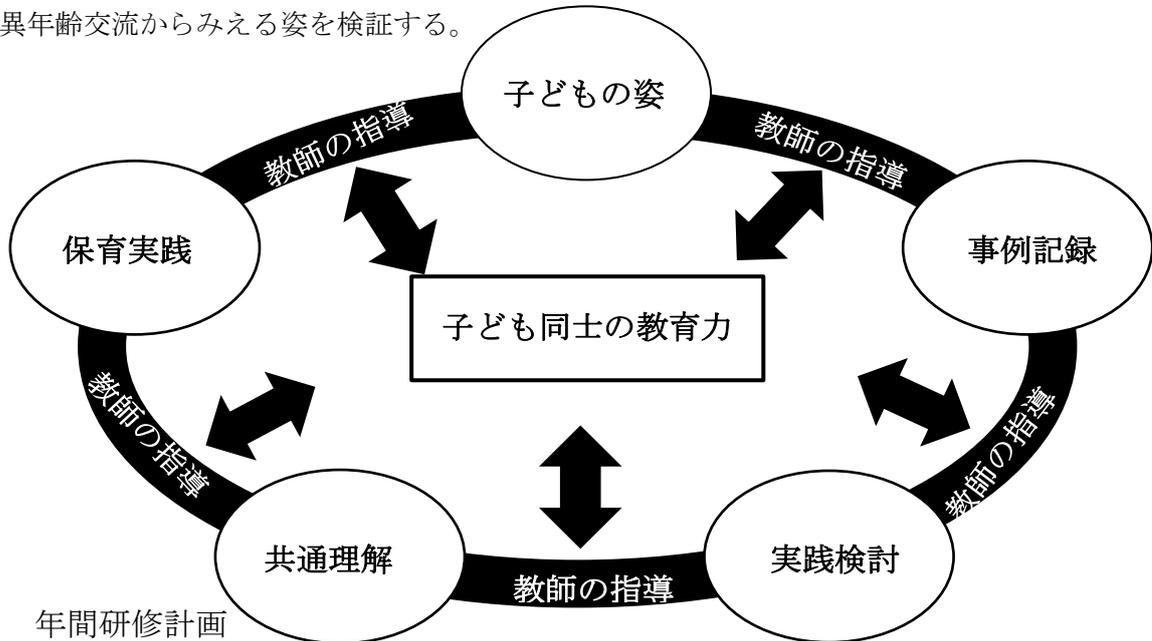
一昨年から、「子どもの運動能力や体力向上」について研修を進める中で、子どもたちの体力が向上すると、それ以上に友達や年長児の姿を見て刺激を受ける姿、年長児を見て自分のものとして取り入れてやってみたい・やってみようとする意欲が見られた。そこから、一人ひとりの存在が大切に、一人ひとりの思いや考えが刺激し合い、一人ひとりの視点で見て、感じて、考えていくことが、子ども同士がつながり、学び合える存在となり、考えていく力が伸びたように思われた。このようなことから、一人ひとりの子どもの姿から見える課題を把握し、かかわり方や指導を考え、一人ひとりがどのようにつながりながら、互いを知り、感じ、学び合っていくのか、その時々教師の指導のあり方を探ってきた。また、その中で子どもたちや教師の様々な「見る」があることも学んだ。

今年度、子どもたちをどうやって見ていくのか、教師自身も子どもたちを見て、行動から考えていくことを意識していき、子どもたち自身が高め合っていくための教師の指導力、そして専門性を探っていく予定であった。

しかし、現時点で新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、入園・進級式のみ園児が登園し、その後休園となっている。園が再開されても社会の情勢により、いつ休園になるか分からなかったり、感染拡大防止のための活動の工夫も考えたりすることが必要となる。このように継続して長期間家庭にいる子どもたちに対して、保育をしていくにはどのような方法があるか、登園した際の遊びの工夫などを考えていく必要があると思った。また、家庭と協力して子どもの体力や精神的な面においても保障していく必要があるため、新型コロナウイルスが流行している中で、子どもたちの豊かな育ちを支えられるように教師ができることを探っていくことが必要になると考え、主題を設定した。

3 研究内容及び方法

- 保護者と協力をして、子どもの姿から実態把握する。
- 研究の仮説を立てる。
- 園内で子どもの姿を話し合い、共有する。
- 異年齢交流からみえる姿を検証する。



4 年間研修計画

一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育課程・年間計画の検討と作成 ・ 本年度の研修主題の設定と研修計画の立案 ・ 園児および地域の実態調査（幼児生活表，個別相談，家庭訪問など） ・ 各日，週，月の幼児の姿，指導の在り方，環境構成等の検討 ・ 年間指導計画の立案 ・ 園内研究保育（指導主事の要請） ・ 実践記録の検討 ・ 一学期の反省と評価
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 二学期の研修計画の作成 ・ 各日，週，月の幼児の姿，指導の在り方，環境構成等の検討 ・ 園内研究保育（指導主事の要請） ・ 各種研究会参加及び還流学習 ・ 実践記録検討 ・ 二学期の反省と評価
三 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三学期の研修計画の作成 ・ 各日，週，月の幼児の姿，指導の在り方，環境等の検討 ・ 実践記録の検討 ・ 園内研修の資料作成 ・ 一年間の研修の成果と課題 ・ 教育課程・年間計画の評価，反省，まとめ ・ 次年度に向けての方向性検討